

10. 地域に望むこと

自分が住んでいる地域に望むことを選択肢の中から複数選択してもらった回答結果は、図 10-1 のとおりである。小5では、「思いっきり遊べる公園などを増やしてほしい」、「家族で遊びに行ける場所を増やしてほしい」が最も多く、次いで「地域の環境を安全にしてほしい」が多い。中2では、「友達やいろいろな人と交流でき、居場所となる施設を増やしてほしい」、「思いっきり遊べる公園などを増やしてほしい」、「家族で遊びに行ける場所を増やしてほしい」が多い。自由記述からも、ボール遊びなどができる公園・広場を要望する声が多かった。また、中2では、身体を動かして遊ぶだけではなく、人と交流できる施設への要望も小5よりは多くなっている。「希望することはない」は、小5で7%、中2で13%あった。

「将来の仕事について学んだり体験したりする機会を増やしてほしい」は、中2では将来つきたい職業の有無やその可能性に関する意識が小5より低かったが、将来の仕事に関連する要望も小5より少なくなっている。

「じっくり話を聞いてくれるおとながいてほしい」は、1割と少ないが、「父母が話しを聞いてもらえない群」では、「聞いてもらえる群」より多く、2割前後あった（図 10-2）。また、小5では、「困ったことや悩み事を相談しない」子どものうちの2割が「聞いてくれるおとながいてほしい」としており、相談する人がいる子どもよりもその割合が高かった（図 10-3）。周りにそのような人がいない子どもにとっては、聞いてくれるおとながより必要とされている。自由記述にも、「私の悩みを聞いてくれる施設がほしい」、「自分の気持ちをわかってほしい」という声があった。

また、「不登校意識群」では、「話を聞いてくれるおとながいてほしい」を選択した子どもの比率は2割ほどあり、「一般群」より高かった（図 10-4）。「不登校意識群」には、「悩みや心配事」を持っている子どもが多く、「父母に話を聞いてもらえない」子どもが比較的多かった。このようなことと関連して、「不登校意識群」における、「話を聞いてくれるおとながいてほしい」の比率が高くなっていると考えられる。

図 10-1 住んでいる地域に望むこと

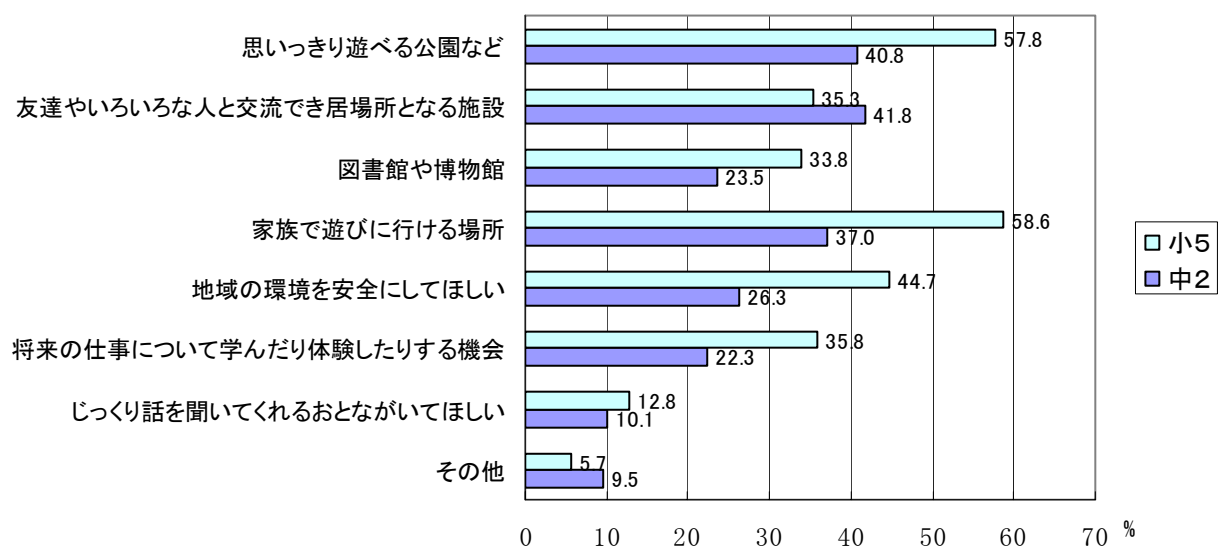


図 10-2 「話を聞いてくれるおとながいてほしい」と「話を聞いてもらえない群」の関連

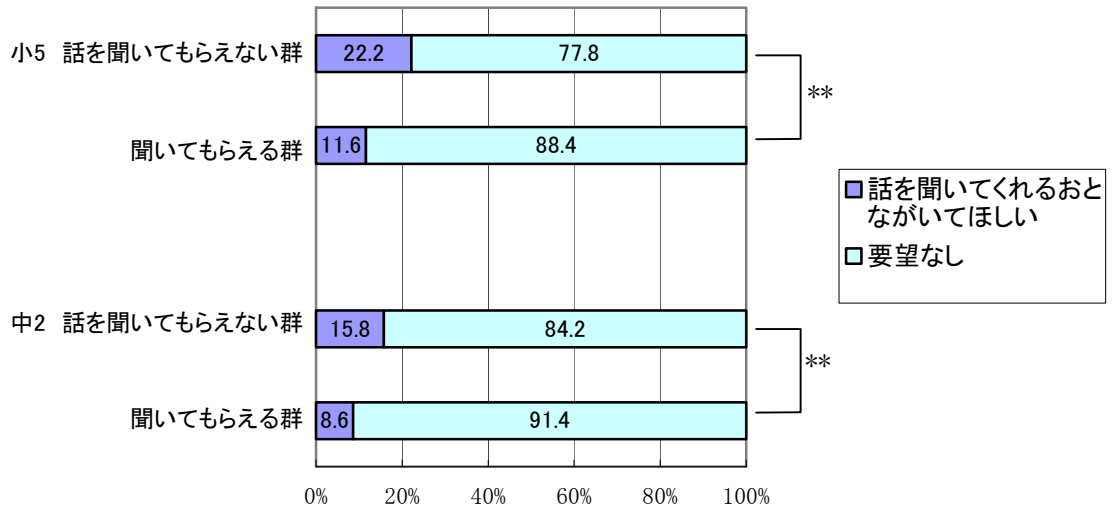


図 10-3 「話を聞いてくれるおとながいてほしい」と「悩み事を相談しない」の関連 (小5)

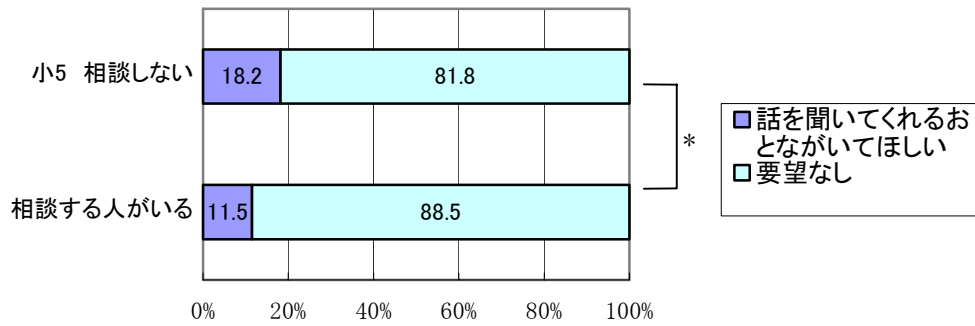
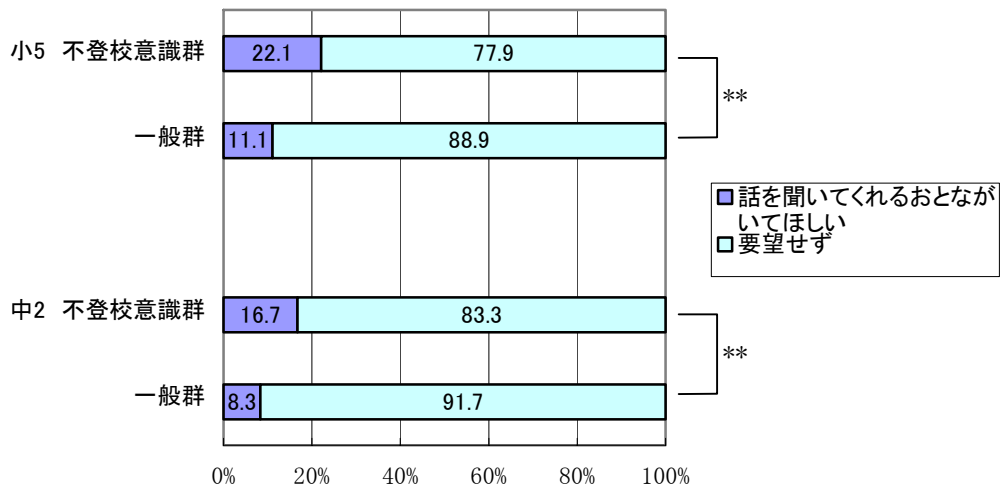


図 10-4 「不登校意識群」と「話を聞いてくれるおとながいてほしい」の関連



11. 自由記述

調査票の最後に、「学校や家庭、地域での生活について、要望や何か言いたいこと」の自由記述欄を設けた。そこに記述があった内容を、家庭、学校、地域・社会、その他に分類すると、以下のとおりである。学校に関する記述のうち、約半数は施設・設備整備に関すること（体育館、運動場、遊具、トイレ、冷暖房、図書、パソコン等）であった。

<小5>		
	項 目	件数
1.	家庭に関するもの (父母への要望、きょうだいに関すること 等)	12
2.	学校に関するもの (学校の施設・設備整備に関する要望、先生や授業に対する要望、授業や放課の時間に関する要望、部活動に関する要望、友達に関すること 等)	50
3.	地域・社会に関するもの (地域の公園・広場等整備に関する要望、スポーツ施設に関する要望、治安や道路の安全に関する要望、自然環境・緑化に関する要望、文化施設・交流できる施設に関する要望、商業施設に関する要望、イベントに関する要望、おとなに対して 等)	98
4.	その他	10
計		170
<中2>		
	項 目	件数
1.	家庭に関するもの (父母への要望 等)	5
2.	学校に関するもの (学校の施設・設備整備に関する要望、先生や授業に対する要望、放課の時間に関する要望、勉強する意味についての疑問、部活動に関する要望、友達に関すること、制服・校則に関すること、学校の楽しさに関すること、学校の行事に関する要望 等)	98
3.	地域・社会に関するもの (地域の公園・広場等整備に関する要望、スポーツ施設に関する要望、治安や道路の安全に関する要望、自然環境・緑化に関する要望、居場所・交流できる施設に関する要望、商業施設に関する要望 等)	62
4.	その他	15
計		180
合計		350